松崎地域　庁舎建設に関する検討会

【日時】　　平成２９年４月７日（金）　午後６時３０分～午後８時
【場所】　　松崎公民館　集会室
【出席者】　松崎地域住民ほか　計３３名
【市説明者】松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長
【配付資料】「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」
【概要】　１）市長あいさつ（松浦市長）
　　２）庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
　　・候補地選定の経緯を中心に説明
　　３）質疑応答
【質疑応答の概要】　＊各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者１

場所が北か今の庁舎かで決まっている。防府天満宮を活性化するためもっと知恵が欲しい。市役所を作る場所に駐車場を設け、大宰府のように商店街と一体化できると良い。

◆質問者２

この会の性格を確認したい。市としては駅北でやりたいという説明であったが、駅北で納得してくれという説明会か。

●庁舎建設室長

防府天満宮は、駐車場が上にあり、商店街との回遊性がないのは残念なことで、改善策を庁舎と絡めて考えるかどうかということはあるが、駅北に庁舎を出すことを今後のまちづくりの新展開、きっかけだと思っている。

この会の趣旨については、検討委員会で駅北公有地エリアを選んでもらった上での計画ができたので、その中身の説明をするということ。納得していただければ有り難いが、そうでない場合はどこが納得できないかなどお聴かせいただきたいと思っている。

●市長

そろそろ、どこかに市役所を作ってもいいのではないかという思いが私の中にある。かねてから、まちというものは動かざるものを中心に作っていかなければならないと考えている。防府の場合は、１１００年鎮座している天満宮、１１０年あの場所にある防府駅、港もある。この３つが中心になってまちが形成されていくだろう。火葬場、消防署、焼却場も建替えて、そろそろ市役所にかかろうと。折角、巨大な投資をするなら、まちづくりに資していくのに越したことはない。おおよそ１０００人の人間が昼間働いている、お客様も随分お見えになる。それを発展につなげない手はない。JR 官舎跡地の土地があるから、それを有効活用する、そういう考え。

移転する場合には議会の３分の２の賛同が必要、現有地であれば過半数でできる。意

見が交錯しているが、どこかで折り合いをつけなくてはならない。

今日は、駅北で納得してくれという会議ではなく、今日までどんな議論をしてきたか、どんな考えを私たちが持っているか、つまびらかに説明させていただいている。

人口減少、少子高齢化の中で座して衰退を見ていくわけには行かない。今日まで駅中心におおよそ５００億円位の投資を先人がなされてきた。鉄道高架事業も延長６キロにわたり地権者の協力があり、駅北･駅南の再開発事業にも大変なエネルギーが投入されてきた。これらのまちづくりへの投資を今に生きる私たちは有効に活用し、次世代に渡していく責任がある。

一定の判断をしたわけで、決断するのは市民であり、つまり市議会である。議会の３分の２の賛同が得られなければ実現には至らない。

庁舎の建設には基本的に国や県からのお金は出ない。３０年前の駅前を想像していただいたら、今とは隔世の感があることは一目瞭然。合併していたら防府市のどこかに市役所を作るという議論にはならないだろう。そろそろどこかに庁舎を考えてもいいのではないかということでご説明をさせていただいている。

◆質問者３

駅北で決まったように聞こえる。ゆっくりゆっくりと言われるがスピードも速まっている。もう少し駅北一本に絞らないで、市民の声を聴いてもらいたい。

◆市長

全く、決まっていない。行政の判断としてお示ししているということで、全く決まっていないことをはっきりと申し上げておきたい。

◆質問者４

決まってないと言われるが、今出ている案の中から選びなさいと言われているように受け取れる。いいところ、悪いところを両方出して市民に提示しないと、私たちが選べない。わからなければわからなくていいという話はいかがかと思う。一人でも多くの賛成を得て納得させるために動くのが当たり前。比較できるように現庁舎案も作って、そういう努力があってこそ市民は納得する。

◆質問者５

新庁舎の構想が出たときに、土地を買い増しして大きな塊にして庁舎が作られると思っていたが、バラバラのまま、区画整理せず、道路は狭いまま、駐車場は立体駐車場となれば、使い勝手は悪くなるのではないか。耐震性の問題もあり、早く庁舎を建てるべきだが、現有庁舎での建替えのほうが早いし、安い。３０億円の差があるとなっている。天神の商店街の活性化をどういう風に果たしていくのか、資料はあるが説明がなかったのでその説明もして欲しい。

◆庁舎建設室長

両案作るということについては、全会一致で議会から決議もいただいているので、それについてどういうご意見があるか、各地区でお聞きしたいと思っている。

土地がバラバラのままでは建てられないので、市道を付け替えたりして、その手法としては面的整備が一番良い、区画整理がやれればやりたい。最近は都市計画決定の必要のないものもある。

耐震の面でできるだけ早くということで、確かにそうなのだが、まちづくりの面などもあり、早くというだけではいかないところもある。

資料２ページ目に３０億円の差が出ている。１年前にこれだけの差があるということでお見せしている。先ほどの耐震性ばかりでなく、こういったものも含めて評価したということで、この表では用地取得が２７億、合計で１１８億となっているが、現在では、精査して用地取得費は９億１千万円まで下げている。それは資料の一番最後のページ、概算事業費の B 案のところ。B 案では庁舎自体の建設費用も最新単価で置き直した結果１０億円くらい上がっている。現庁舎と比較してはいないが、現状では３０億円もの差はなくなっている。

ソフトのまちづくりの話は、今回の計画は庁舎の建設計画なので、対象範囲外のところもあり、書いてないところも多い。今後立案するほかの様々な計画に書いていかなければならない。

◆質問者６

お金が今３０億あって、残り７０億の財源、先々、人口が減ったときでも財源不足にならないようにしないといけない。人口減少に見合った建物にして、この先も大丈夫という予算で考えてもらいたい。

◆質問者７

アンケートで７０パーセントが反対ということがあった。それにはそれなりの理由があると思うが、どのように考えているか。

駅北は周りの道路が狭く、行きにくいところ。県道は広くしてもらえるか。町が発展するかという点は、ルルサスにも見られるように、難しい、無理じゃないかと思う。結果としてどうしてもお金の問題になるが、その辺はどうか。

◆質問者８

今、問われているのは、市の情報公開が十分なされてなかったということ。アンケート行政をする必要はないが、市が行ったアンケートの結果は、防災拠点機能の重視が５割あり、まちづくりに寄与するというのは２割しかなかった。

結論は別として、早期に市議会の決議に対応してもらいたい。私たちは市議会議員に託している。

◆庁舎建設室長

財政破綻というのは入の問題であって出の問題ではない。人口と経済成長は無関係。

アンケートの７割というのは、われわれが実施したものではないので、お答えする立場にない。県道が広がるということはないだろう。情報公開が不十分というのはそういう点もあったと思う。防災が大事というのは、総合的に判断したということだと思っている。

◆市長

今日この場で結論が出るわけではない。ここでは、ご意見をお聴きし、どういう経過で今日まで来たか、説明を聴いていただくという場である。庁舎の建設は避けては通れない問題であり、一定の方向性を出していかなければならない中で非常に重たい判断をしている。民間活力の導入など、頭の中にはいろいろあるが、まずはどこに作るかということが肝心。前に転がっていかないことには事は進まない。３０年４０年前からこのまちをなんとかしたいという思いで巨額の投資をされ、まちの発展に貢献された先人の思いを無にしてはならないと思っている。